

## 広島大学 病院輸血部 2019 年業績

### 1) 論文

- 1) Nagao A, Suzuki N, Takedani H, Yamasaki N, Chikasawa Y, Sawada A, Kanematsu T, Nojima M, Higasa S, Amano K, Fukutake K, Fujii T, Matsushita T, Suzuki T. Ischaemic events are rare, and the prevalence of hypertension is not high in Japanese adults with haemophilia: First multicentre study in Asia. *Haemophilia* 25: e223-e230, 2019.
- 2) Fujii T, Fujii T, Miyakoshi Y. Mothers' intentions and behaviours regarding providing risk communication to their daughters about their possibility of being haemophilia carriers: A qualitative study. *Haemophilia* 25: 1059-1065, 2019.
- 3) 藤井輝久. HIV 感染症と血球異常. 日化療法誌 67: 577-582, 2019.
- 4) T.Shintani, T.Fujii, N.Yamasaki, M.Kitagawa, T.Iwata, S.Saito, M.Okada, I.Ogawa, H.Unei, K.Hamamoto, M.Nakaoka, H.Kurihara & H.Shiba. Oral environment and taste function of Japanese HIV-infected patients treated with antiretroviral therapy. *AIDS Care* 32: 829-834, 2019.
- 5) Kagiura F, Fujii T, Kihana N, Maruyama E, Shimoji Y, Kakehashi M. Brief HIV stigma scale for Japanese people living with HIV: validation and restructuring using questionnaire survey data. *AIDS Care* 28: 1-9, 2019.

### 2) 学会発表

- 1) 藤井輝久. 止血機能検査～その値は何を示しているのか～ 第 54 回日本血液学会中四国地方会教育講演. 2019 年 3 月 2 日. 広島
- 2) 藤井輝久、高田昇、岡島正純、日高秀邦、岩戸康治、佐藤知義、田中純子、国分寺晃、古本雅明. 広島県内の新鮮凍結血漿の使用状況と患者予後:多施設共同試験. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会. 2019 年 5 月 23 日～25 日. 熊本
- 3) T.Fujii, T.Fujii, N. Yamasaki. Extended half-life factor VIII management of hemophilia A undergoing surgery is not only efficient but also contributes to saving the factor consumption compared to standard half-life products. XXVII Congress of the International Society on Thromobosis and Haemostasis. 2019 Jul 6-10. Melbourne
- 4) 藤井輝久、山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、石井聡一郎、畝井浩子、齋藤誠司: DTG/ABC/3TC から DTG+3TC への 2 剤レジメンへの変更の経験. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日. 熊本
- 5) 北野弘之、山崎尚也、井上暢子、梶原俊毅、亭島淳、松原昭郎、藤井輝久、大毛宏喜: HIV 感染症に合併した梅毒の serofast reaction についての検討. 第 93 回日本感染症学会学術集会. 2019 年 4 月 4 日～6 日. 名古屋
- 6) 山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、小松真由美、柏原真由、矢内綾佳、

- 下本和輝、野崎晶太、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久：血栓性血小板減少性紫斑病が疑われた GPIIb/IIIa 自己抗体保有症例. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会. 2019 年 5 月 23 日～25 日. 熊本
- 7) 柏原真由、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、小松真由美、矢内綾佳、下本和輝、野崎晶太、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久：長期間の脱感作後に腎移植を施行したドナー特異的抗 HLA 抗体を保有した症例. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会. 2019 年 5 月 23 日～25 日. 熊本
  - 8) 山崎尚也、藤井輝久：エフラロクトコグ α ボーラス投与にて周術期管理を行った血友病 A の 6 症例. 第 41 回日本血栓止血学会学術集会. 2019 年 6 月 20 日～22 日. 津
  - 9) Tomie Fujii, Teruhisa Fujii, Yukiko Miyakoshi : Comparison of mindset between the medical doctors and the staffs of genetic counseling about support of hemophilia carriers in Japan. XXVII Congress of the International Society on Thromobosis and Haemostasis. 2019 Jul 6-10. Melbourne
  - 10) 野崎晶太、柏原真由、山岡愛子、野間慎尋、栗田絵美、廣瀬祥子、小松真由美、矢内綾佳、井上暢子、石田誠子、山崎尚也、藤井輝久：当院における薬剤部から輸血部へのアルブミン製剤の移管と使用状況の変化. 第 64 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 2019 年 9 月 7 日. 米子
  - 11) 山崎尚也、藤井輝久：血友病性関節症の状態により凝固第 VIII 因子活性の目標トラフ値は変えるべきか？ 第 80 回日本血液学会学術集会. 2019 年 10 月 11 日～13 日. 東京
  - 12) 井上暢子、石田誠子、柏原真由、矢内綾佳、山崎尚也、藤井輝久：初診時より汎血球減少を認め多剤併用療法開始後に自己免疫性溶血性貧血を発症した HIV 感染症の一例. 第 66 回日本臨床検査医学会学術集会. 2019 年 11 月 21 日～24 日. 岡山
  - 13) 横幕能行、伊藤俊広、山本政弘、岡慎一、豊嶋崇徳、茂呂寛、渡邊珠代、渡邊大、藤井輝久、今橋真弓、渡邊真理子：我が国の抗 HIV 療法の現状と今後. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日. 熊本
  - 14) 杉本悠貴恵、喜花伸子、山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、佐々木美希、宮原明美、池田有里、大成杏子、村上英子、田中まりの、石井総一郎、畝井浩子、高田 昇、藤井輝久：広島大学病院における HIV 陽性者の覚せい剤使用者への支援-地域の専門機関へのつながり-. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日. 熊本
  - 15) 今橋真弓、岡慎一、伊藤俊広、山本政弘、内藤俊夫、遠藤知之、茂呂寛、渡邊珠代、渡邊大、藤井輝久、宇佐美雄司、池田和子、吉野宗宏、本田美和子、葛田衣重、三木浩司、四柳宏、横幕能行：二次医療圏から考えるエイズ診療拠点病院の配置. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日. 熊本
  - 16) 喜花伸子、杉本悠貴恵、内野悌司、畝井浩子、村上英子、宮原明美、池田有里、

山崎尚也、高田昇、藤井輝久：HIV 医療チーム対象の症例検討型多職種包括的研究会の効果についての検討. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日.熊本

- 17) 石井聡一郎、田中まりの、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、柿本聖樹、井上暢子、山崎尚也、高田昇、藤井輝久：当院における NRTI sparing regimen の治療効果と安全性. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日.熊本
- 18) 新谷智章、岩田倫幸、岡田美穂、山崎尚也、藤井輝久、柴秀樹：広島大学病院歯科外来における HIV 曝露時の対応について. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日.熊本
- 19) 山崎尚也、井上暢子、藤井輝久：抗 HIV 療法施行中に次々に自己免疫疾患を発症した 1 例. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2019 年 11 月 27 日～29 日.熊本